



555 Vibhavadi-Rangsit Road, Chatuchak Bangkok 10900 Tel. 0 2553 8111, Fax : 0 2553 8222

プレスリリース / PRESS RELEASE

第 5 / 2568 (Aor. 3) 号
2025 年 1 月 14 日

「インフィニオン」、ドイツの半導体大手がタイで工場建設を開始
BOI、タイの半導体産業を世界トップクラスの生産拠点へ

BOI は、ドイツの半導体大手「インフィニオン」の新工場の起工式に参加しました。同社はドイツ国内で No.1 の半導体メーカーであり、タイをパワーモジュール半導体の生産拠点として選定しました。この半導体は、電気自動車、データセンター、エネルギー貯蔵システム、クリーンエネルギー関連機器に使用されます。同社にとって、このタイ工場はドイツ、中国に続く世界で 3 番目の生産拠点となります。工場の稼働開始は 2026 年（仏暦 2569 年）初頭を予定しており、あわせて研究センターの設立や人材育成の協力計画も発表されました。この投資は、タイの半導体サプライチェーンの強化につながり、世界の主要な半導体生産拠点へと引き上げる大きな一歩となります。

ナリット・タートサティラサック投資委員会（BOI）事務局長は、先端半導体パッケージング（Semiconductor Advanced Packaging）のパワーモジュール工場の起工式に参加した後、次のように述べました。この工場は、電力制御機器向けの半導体パワーモジュールを製造する工場で、サムットプラカーン県に建設されます。この工場を設立するのは、ドイツの Infineon Technologies AG のグループ企業であるインフィニオン・テクノロジーズ（タイランド）社です。インフィニオンはドイツ最大の半導体メーカーであり、電気自動車向けおよび産業用電力機器（Power Electronics）向け半導体市場において、世界トップのシェアを有しています。さらに、同社は世界で初めてパワーモジュールを製造した企業としても知られています。

タイに建設されるインフィニオンのパワーモジュール製造工場は、BOI の投資奨励を受けており、2026 年（仏暦 2569 年）初頭に完成・稼働開始予定です。この工場では、電気自動車、データセンター、エネルギー貯蔵システム、クリーンエネルギー関連機器向けの製品を主に供給する計画です。さらに、同社は「半導体研究開発センター」の設立にも投資し、この施設を通じてタイ国内の事業運営およびアジア地域のグループ企業を支援します。また、半導体技術およびイノベーションの知識移転も推進し、教育

機関や研究機関と連携してタイの半導体分野の人材を育成し、タイを世界レベルの半導体生産拠点へと発展させることを目指しています。

「インフィニオンの今回の投資決定は、タイが世界の半導体産業のサプライチェーンに参入するうえで重要な一歩となります。特に、高度な技術を要するパワーモジュール向けの先端パッケージングの生産を通じて、クリーンエネルギー管理事業や電気自動車産業の発展を支えることとなります。また、タイ国内の大学と連携し、半導体関連の工学・科学分野の人材育成を推進するとともに、タイ企業が国際基準に適合した部品を製造できるよう支援するものです。この投資は、タイのビジネス環境の優位性と成長可能性に対する同社の信頼を示すものであり、政府が2024年（仏暦2567年）12月に国家半導体委員会を設立したことも、タイが半導体産業の発展を強力に推進する決意をしていることを改めて示しています。」とナリット氏は述べました。

インフィニオン・テクノロジーズ取締役兼最高執行責任者（COO）のルトガー・ヴィッツブルグ氏は、次のように述べました。「今回のタイにおける新たな半導体工場の建設は、東南アジア地域における大規模な生産拡張の一環となるものです。この投資により、生産効率を向上させるとともに、生産拠点の多様化を推進することで、アジア市場の需要に対応していきます。特に、クリーンエネルギー分野および温室効果ガス排出削減に注力する産業を支援することを目的としています。これは、気候変動対策の世界的なトレンドとも合致しています。」

「二酸化炭素排出の削減とデジタル化の進展は、半導体産業の構造的成長を推進する重要な原動力です。そこで当社は、最先端のバックエンド工場をタイに設立し、今後の顧客ニーズに対応するとともに、サプライチェーンの柔軟性を高め、強靱性を強化します。今回のタイでの投資は、生産拠点の多様化とコスト管理の最適化のための重要な戦略の一環です。これにより、高品質な製品を効率的に提供し、顧客からさらなる信頼を獲得することを目指しています。」と、ルトガー・ヴィッツブルグ氏は述べました。

また、ルトガー・ヴィッツブルグ氏およびインフィニオン・テクノロジーズAGの経営陣は、2025年（仏暦2568年）1月13日にペートンタン・シナワット首相を表敬訪問しました。この訪問では、タイ政府による投資への多大な支援に謝意を示すとともに、タイの半導体産業における高度人材の育成や、タイの半導体サプライチェーンの強化と国際競争力向上に向けた、今後の協力について意見交換が行われました。

“BOIは全投資規模、タイと外国の両者を投資奨励する”

